

ピックアップ 市政情報

代表電話番号は、16ページに記載してあります。

土地の現地確認調査に い協力ください

固定資産税の平成24年度評価替えに向けた土地評価の見直し作業を行っています。路線価評価の見直しのため、現地確認調査を実施しますのでご協力をお願いします。

調査期間 9月1日(水)～

11月10日(水)

調査区域 二本松地域、安達

地域、岩代地域の路線価評

価区域

調査員 市が委託した業者

の調査員が実施します。なお、委託した調査員は腕章を着用し、市が発行した身分証明書を携行しています。**調査方法等** 道路の幅員や舗装の状況、周辺施設など、路線の状況を現地に確認します。また記録するため写真撮影を行います。※固定資産税の適正な課税のための調査です。ご理解とご協力をお願いします。

家を壊したときは 忘れずに届出を!

家屋にかかる固定資産税は1月1日現在の所有者に課税されますが、年末までに家屋を取り壊したにもかかわらず市への届出を行わなかったため、引続き課税となることがあります。

家屋を取り壊したときは、忘れずに「家屋取り壊し届出書」を提出してください。

届出書は、市役所税務課、各支所地域振興課または各住民センターにあります。

◎問い合わせ・届出先…
税務課資産税係

☎(55)5086

公德心高揚運動推進協議会 「実践賞」を贈りたたえる

環境美化や奉仕の心で長年地域に貢献してくださった方々に、実践賞の楯を贈り感謝の意を表しました。

受賞者は次の方々です。

二本松地域

武藤久治さん(鳥寺)

環境美化活動

安達地域

絵本読み聞かせの会

おはなしスプーン(渋川)奉仕の心



左から：武藤さん、おはなしスプーン代表菅野さん、本田さん、織ノ内花愛好会代表熊谷さん

岩代地域

本田徳雄さん(杉沢)

交通安全運動

東和地域

織ノ内花愛好会(戸沢)

環境美化活動

実践賞を受賞された方々は、長年にわたり地道な活動を黙々と続けられ地域の模範となり、地域の方や遠来の方々に感謝されてきました。

今後とも体を大切にされ、活動されることを願っています。

監査委員に浅川吉寿議員

7月21日に開催された市議会臨時会において、浅川吉寿議員(浅川)の監査委員選任が同意され同日付けで就任されました。

任期は平成26年6月までです。



新英語指導助手

ジェニファー・スミジンさん来松



8月4日付で新たな英語指導助手(ALT)として赴任しました。

ジェニファーさんは、イギリスのロンドン出身。2学期から二本松一中、二本松二中、二本松三中で英語指導にあたります。

よろしくお祈りします!



国勢調査は みんなで描く 日本の自画像

(平成22年国勢調査標語)

国勢調査、いよいよスタート!

調査員が世帯を訪問して調査票を配布します



- 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。
- 9月下旬から調査員が世帯を訪問して、調査票を配布します。
- 10月上旬に調査員が記入状況の確認、調査票の回収にお伺いします。
- 記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、市に郵送で提出していただきます。
- 国勢調査員をはじめとする調査関係者には、統計法に基づく守秘義務があり、調査内容の秘密は保護されます。安心して調査にご協力ください。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。調査票への正確な記入と調査票の提出にご協力ください。

◎問い合わせ…企画財政課企画調整係 ☎(55)5090

福島県国勢調査人口予想クイズ

県および県統計協会では、10月1日に行われる国勢調査に関心を持ってもらうため、人口予想クイズを実施します。正解か、正解に近い順に、上海旅行など豪華賞品が贈られますのでご応募ください。詳しくは県のホームページをご覧ください。

問 題 『平成22年10月1日に実施される国勢調査の結果、福島県の総人口は何人になるのでしょうか?』

応募方法 クイズの答え・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、はがきまたは県ホームページから応募ください。

応募期間 9月1日(水)～10月24日(日)

応募資格 県内在住の方

◎問い合わせ・応募先…

〒960-8670(住所記載不要) 県統計分析課内
福島県統計協会福島県国勢調査人口予想クイズ係 ☎024(521)7143



繁栄 希望
喜びに充ちた
二本松
～市長からの手紙～
三保忠一

二本松が生んだ世界的歴史学者、朝河貫一博士の縁で二本松市とアメリカのハノーバー町が交流を始めて二十年。朝河博士の足跡を訪ね、国際交流を図ることを目的に、「市民の翼」で中学生の団員と渡米しました。

ダートマス大学の訪問やハノーバー町の人々との交流、ホームステイではホストファミリーの皆さんから心温まる歓迎を頂き、コミュニケーションを図り、米国の暮らしや教育、産業、文化など貴重な体験をすることができました。

イェール大学では、日本人初のイェール大学教授になった朝河博士の墓参りや朝河メモリアルガーデン、図書館に展示されている博士の書簡を見せて頂きました。ノーベル賞受賞者や大統領を数多く輩出しているイェール大学を視察

し、博士の努力と偉大さを感じました。

金融や経済、ビジネスなど様々な分野で時代の最先端を走り続ける米国最大の都市ニューヨーク、国連本部や自由の女神像等、開拓精神に満ちたアメリカ。異文化に触れ、改めてふるさとを見つめなおし、生き方を考える契機になったものと思っております。

団員が親善使節として立派に役割を果たしてくれたことに感謝しながら、未来を担う子どもたちが世界の平和と人類の進歩発展に貢献されることを願っております。

「平和」を願った交流の芽や「市民の翼」で芽生えた国際的な視野、感覚を育んでいけるよう、国際交流都市二本松の発展を目指して参ります。

